

くすのき

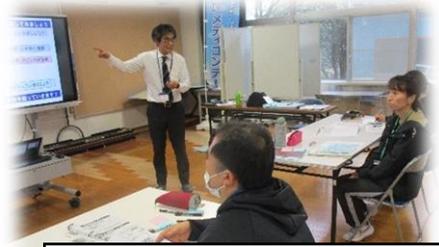


西合志第一小学校
学校だより 第20号
文責 校長 西村羊治
令和6年2月16日

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

先生も勉強

2月14日(水)子ども達が下校した後、校内研修を行いました。菊地教育事務所の指導主事である上田先生をお招きして、熊本県学力調査結果の膨大なデータの見方のポイントやそこから見えてくる本校の子ども達の頑張りや課題を洗い出していきました。もちろん事前に各担任は各クラスのデータ確認はしていましたが、ご指導いただいたことを踏まえて、再度クラスのデータとにらめっこしながら、自分のクラスの国語と算数の成果と課題を細かく見ていきました。各学年の成果と課題の傾向を見ていくと、第一小学校全体の特徴が見えてきます。明らかになった課題を意識しながら今後の教育活動に取り組んでいくことを、全職員で共有することができました。



指導主事、上田先生の講話

また、指導主事の上田先生は、私が入院した後の7月ぐらいから本校の支援及びご指導に当たってくださり、職員への授業のアドバイスはもちろん、児童に直接指導してくださるなど、半年以上いろいろな面で大変お世話になりました。お陰様で、若い職員の授業力向上や児童への関わり方などたくさんのご示唆をいただき、子ども達のよい方向への変容も見られるようになってきています。



上田先生が児童に直接アドバイス

本校の教育活動において5者(子ども・学校・保護者・地域・行政)の連携を強く感じております。とても有り難いことです。今後も5者の連携を意識しながら、子ども達のために教師自身の力量を向上させると共に、周りの方々の力を遠慮なくお願いしていきたいと考えております。今後もよろしく願います。

主体的な活動!

元日、能登半島地震が突然発生しました。帰省していた人も含め200人以上の方々のご貴重な命が奪われました。今でも多くの避難者の方がいます。本校企画委員の児童が、その現地で苦しんでいる方々の少しでも支えになればと、校内での募金活動を提案してくれました。困っている人のことを思い、自分たちができることをやりたい。すばらしい気持ちを行動に移してくれました。このような子ども達が、育っていることを誇りに思うと同時に、亡くなられた方のご冥福や被災された方々の早期の日常生活復帰を願います。



募金を入金してくれた企画委員さん

放課後キッズ・わく友最終回

2月14日、今年度最後の放課後キッズとわく友がありました。内容は1年間の感想発表でした。6年生から1年生までの全員が発表しました。「違う学年の人とたくさん遊んだり活動したりして、仲良くなったことが嬉しかったです。」と発表してくれた子がいました。第一小ならではのすばらしいことだと感じました。来年度もこのすばらしい活動が、続いていくことを期待しております。



わくわく友だち会で感想を発表する子どもをも見守る轟会長と宮本館長